

【参考資料】司書教諭と学校司書の支援

日本の音階を使って旋律をつくろう（図書資料から俳句を選び、思いや意図をもって表現を工夫する）

☆事前準備

単元のねらい，授業の流れ等の打合せ 【教科担当 司書教諭 学校司書】

資料収集，資料の選定【学校司書】

・「秋」の俳句で字余りがないもの

・俳句に詠まれているものが分かりやすいもの（写真，イラスト入り 絵本 マンガで解説 便覧等）

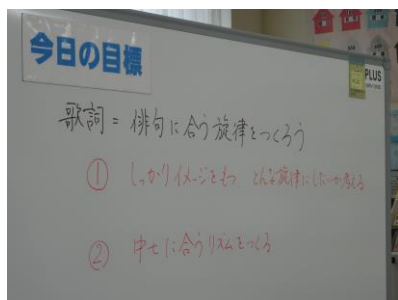
授業の入り方，支援の仕方の打合せ 【教科担当 司書教諭 学校司書】

☆2 時間目（2 / 4 時）の流れ

①前時の想起と本時の目標【教科担当】

歌詞（＝俳句）に合う旋律をつくろう

- 1 しっかりイメージをもち，どんな旋律にしたいか考える
- 2 中七にあうリズムをつくる

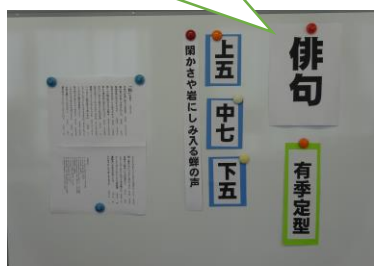


②俳句の説明と読む練習【司書教諭】，資料の説明【学校司書】

●リストと資料の見方

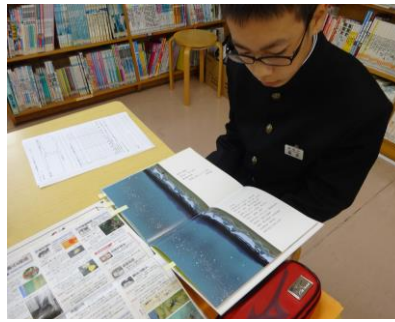
「有季定型」

- 季語がある
(→今回は「秋」の俳句)
- 五・七・五 の十七音
(→ことばのまとまりも意識しよう)



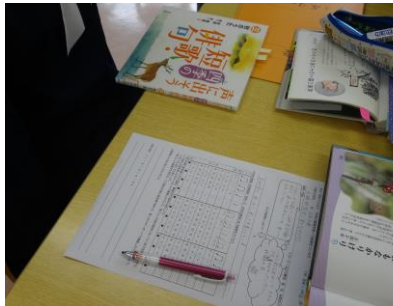
③ワークシート記入1【教科担当 司書教諭 学校司書】

気に入った一句を選び、意味や内容、イメージ、どんな雰囲気の旋律をつくりたいかを記入する



④ワークシート記入2【教科担当】

選んだ俳句の言葉のリズムをもとに、2小節目（中七）のリズムを考えて記入する



⑤振り返りと次回の予告【教科担当】

